



皆さんも認知症サポーターになりませんか？

「認知症サポーター」とは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。

厚生労働省では平成17年度より「認知症を知り地域をつくる10力年キャンペーン」を開始し、その一環として「認知症サポーター100万人キャラバン」事業を展開しています。全国で現在約190万人の認知症サポーターがいます。

志賀町でも、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、「認知症サポーター」の養成を進めています。これまでに、住民、学校、職域などを対象に認知症サポーター養成講座を開催し、約900人のサポーターが誕生しています。

「認知症サポーター」には、

何か特別なことをするという決まりはありません。認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で活動してもらっています。

たとえば、養成講座で得た知識を友人や家族に伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、地域で困っている認知症の人を見かけたら優しく声をかけるなど、活動内容は人それぞれです。

認知症サポーター養成講座について

専門の講習を受講した「キャラバンメイト」が出前講座を開催しています。

●内容

認知症の基本的な知識、認知症の人との接し方、利用できるサービスなど約1時間。

●講座参加者には、認知症サポーターの目印のオレンジリングをお渡しします。

●開催希望の団体・グループ（10人以上）がありましたら、実施希望日の1カ月前までに左記までお申し込みください。

●問い合わせ・申し込み先
健康福祉課

☎32-9132

【志賀町不妊治療費助成の お知らせ】

平成22年度分の一般不妊治療費と特定不妊治療費の助成を希望する人は、3月末日までに保健福祉センターに申請してください。

特定不妊治療費の場合は県での申請を行ってから、町に申請してください。

●問い合わせ・申請先

保健福祉センター

☎32-0339

『ヘルスマイト』の活動を 紹介します！

私たち、食生活改善推進員

（愛称・ヘルスマイト）は、『私たちの健康は私達の手で』を合い言葉に、お向かいさん、お隣さんを活動の原点とし、地域における健康づくりの担い手として

さまざまなボランティア活動を行っています。



「男性の料理教室」



「低栄養予防講座」

【定期予防接種を受けましょう！】町では感染症の流行予防を目的として、各種の予防接種を実施しています。

予防接種の種類によっては対象年齢を過ぎると、自費での接種となるものがありますので、定期予防接種の対象の人は早めに接種を済ませましょう。

●麻しん風しん混合

- ①1歳から2歳の間に1回
- ②小学校就学前1年間に1回
- ③中学1年生の間に1回
- ④高校3年生の間に1回

●二種混合
小学6年生の間に1回接種。

●ポリオ

7歳6カ月になる前日までに2回接種（服用）します。ポリオは集団接種のみです。次回は2月16日（水）

受付13時30分～14時30分です。

●三種混合

7歳6カ月になる前日までに初回3回、初回追加1回の計4回を接種します。この4回の初回接種が完了していない場合は、小学6年生で実施している二種混合予防接種が受けられませんが、ご注意ください。

●日本脳炎

7歳6カ月になる前日までに初回2回、初回追加1回の計3回を接種します。ただし、平成17年からの積極的勧奨の差し控えで、接種機会を逃した人については、特例措置（9～13歳になる前日までの間でも初回3回接種が可能）が行われています。また、第2期接種も再開されています。接種の方法については町ホームページをご覧ください。

【インフルエンザのお知らせ】

生活保護世帯または町民税非課税世帯の人はインフルエンザワクチン接種費用が無料になります。



ボつたち
ワタシたち
あし歯が
なின்றよ。

(平成22年8月19日、27日、
10月21日、11月26日、
12月16日の3歳児健診分)



大津
白井佑京くん



福浦港
佐渡千洋くん



高浜町
大岡未來ちゃん



高浜町
太田和希くん



高浜町
橋本 椿ちゃん



高浜町
水潤雄吾くん



高浜町
加藤瑚愛ちゃん



高浜町
堂端敏貴くん



高浜町
木村咲和ちゃん



高浜町
森 彩花ちゃん



富来領家町
館 桜祐くん



北吉田
南 豪くん



館開
林 八尋くん



火打谷
谷口芽生ちゃん



福野
高山陽貴くん



大島
柴田咲季ちゃん



岩田
乙地晃希くん



清水今江
池田飛鳥ちゃん



赤住
牧田佳子ちゃん



富来生神
向 陸斗くん



里本江
高 真徳くん



里本江
酒井樹由ちゃん



給分
木下晴仁くん



中浜
亀田健斗くん



中浜
岡 鈴音くん



稲敷
坂下 愛ちゃん



稲敷
坂下 優ちゃん



大津
塚田葵音ちゃん



赤住
山下朱里ちゃん



町
山本煌輝くん



町
成瀬光梨ちゃん



赤住
網谷悠生くん



米町
桜井郁人くん



火打谷
干場心葉ちゃん



矢田
前田和義くん



米浜
中村美結ちゃん



高浜町
角谷光貴くん



大島
島田 魁くん



富来高田
井上凜花ちゃん



富来地頭町
藏谷有祐くん



富来地頭町
金谷幸成くん



富来領家町
山本琉羽くん



富来領家町
田辺菜摘ちゃん



八幡座主
竹田幸輝くん



里本江
川端勇輝くん



高浜町
本谷万奈ちゃん



高浜町
織田七海ちゃん



高浜町
和泉來杏ちゃん



高浜町
泉 雄大くん



上野
前田悠成くん



上野
岡本拓磨くん



堀松
國部巧斗くん



館開
山岸友芽ちゃん



矢駄
泉 侑輝くん



福野
宮本凜惺くん



大島
播磨美波ちゃん



仏木
四蔵和斗くん



富来高田
川端奈都希ちゃん



堀松
橋本奈袖ちゃん

●各予防接種についてのお問い合わせは保健福祉センターまで
☎ 32-0339

●申請期間
平成23年4月28日まで

●接種期間
平成23年3月31日まで

①または②の方法で申請ください。
①事前に住民課または富来支所
総合窓口で、接種券交付を受
け無料で接種してください。
②すでに接種した人は、払い戻
しの申請をしてください。接
種済証、領収書、印鑑、振込
口座の写しが必要です

地上デジタル放送視聴のための低所得世帯への支援について

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送に移行することができない世帯に対して、支援を行っています。

(1) NHK 放送受信料が全額免除となっている世帯への支援

[支援の対象] まだ地上デジタル放送に対応できず、①生活保護などの公的扶助を受けている世帯、②障がい者がいる世帯で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯、③社会福祉施設に入所している世帯のいずれかに該当し、NHK 放送受信料が全額免除の世帯が対象です。

[支援の内容] 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付し、対象世帯を訪問してチューナーの設置を行います。アンテナ改修などが必要な場合は無償で工事を行います。

(2) 市町村民税非課税世帯への支援

[支援の対象] まだ地上デジタル放送に対応できず、「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」が対象です。(NHK との放送受信契約が必要です)

[支援の内容] 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。(チューナーの訪問設置、アンテナ改修などは行いません)

申込方法は

申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して総務省 地デジチューナー支援実施センターへ送付してください。

申込書は健康福祉課と富来支所総合窓口にあります。そのほかインターネット、電話などで総務省 地デジチューナー支援実施センターからお取り寄せください。

申し込みには「世帯全員が記載された住民票の写し」と「世帯全員分の市町村民税非課税証明書」が必要です。

お問い合わせ先

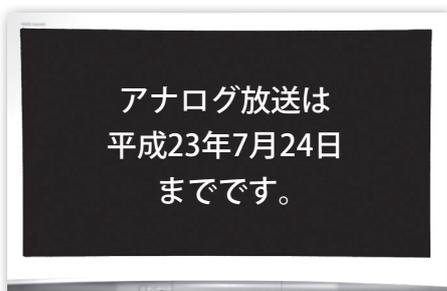
支援制度について 総務省 地デジチューナー支援実施センター

NHK 放送受信料全額免除世帯への支援は ☎ 0570-023724

市町村民税非課税世帯への支援は ☎ 0570-023724

NHK の放送受信契約について NHK ふれあいセンター ☎ 0570-077077

そのほかの不明な点は健康福祉課までご連絡ください。☎ 32-9131



アナログ放送は
平成23年7月24日
までです。

石川県立富来高等学校 閉校のお知らせ

このたびの高校再編で、富来高校は高浜高校と統合となり、平成23年3月末日をもって閉校することになりました。

◎閉校式典

平成23年3月6日(日) 14時～15時

富来高校体育館

☎ (0767) 42-0034 FAX (0767) 42-0904

石川県立高浜高等学校 閉校のお知らせ

昭和40年に発足して以来、46年の伝統と歴史を刻んだ本校ですが、富来高校との統合に伴い閉校することになりました。

◎閉校式典

平成23年3月6日(日) 11時30分～12時30分

高浜高校体育館

☎ (0767) 32-1166 FAX (0767) 32-9077

▶閉校に伴い、諸証明書発行などの手続きは富来高校、高浜高校とも平成23年4月より志賀高校へ引き継がれます。

石川県県政モニター募集

県では、県民参加による開かれた県政を推進するため、県が行う広聴活動に積極的に参加し、県政に提言などをしていただく県政モニターを公募します。

1 活動内容

(1) 県政に関するアンケート調査への回答

※回答は郵送のほか、インターネットでもできます。ただし携帯電話のメールアドレスは除きます。

(2) モニター会議、意見交換への出席など

2 委嘱期間（任期） 平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月までの 2 年間

3 募集人数および募集期間 30 人、平成 23 年 1 月 7 日（金）～平成 23 年 2 月 23 日（水）

4 応募方法など

(1) 応募資格 県内在住の満 20 歳以上の人（平成 23 年 4 月 1 日現在）※公務員、県政モニター経験者は除きます。

(2) 応募方法 応募用紙に必要事項を記載の上、平成 23 年 2 月 23 日（水）午後 5 時までに県民交流課広報広聴室あてに、郵便または電子メールで送付してください。（郵便の場合は同日消印有効です）

(3) 選考方法 応募の際の「応募動機」「県政に望むこと」などの読みやすさなどとともに、居住地域、職業、年齢、性別に偏りがないように選考します。

(4) 選考結果 選考された人は 3 月中にお知らせします。

(5) 謝 礼 活動実績に応じて薄謝をお支払いします。

5 お問い合わせ・応募先 石川県県民交流課広聴室 担当 長濱、高窪

〒 920-8580 金沢市鞍月 1-1 ☎ 076-225-1362 Eメール e130500b@pref.ishikawa.lg.jp



火災・救急件数のまとめ

～火災は減少、33 人に 1 人が搬送～



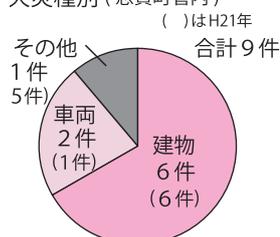
平成 22 年中の羽咋郡市全体と志賀町内に出動した火災・救急件数は下のグラフのとおりです。

火災では平成 21 年中の 13 件から 9 件となり 4 件減少しました。

救急件数では、727 件で平成 21 年比で 59 件の増となりました。搬送人員は 765 人で町民の 33 人に 1 人が救急搬送されたこととなります。

事故種別では「急病」が最も多く 491 件、次いで、「一般負傷」が 99 件、「転院などのその他」91 件、「交通事故」46 件となりました。特に平成 22 年の猛暑で「熱中症」での増加傾向が見られました。

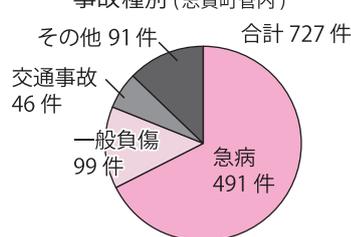
火災種別（志賀町管内）



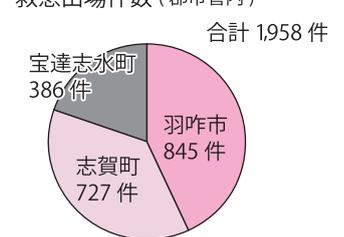
火災出動件数（郡市管内）



事故種別（志賀町管内）



救急出場件数（郡市管内）



善意のもち米の寄贈

子どもたちの健やかな成長を願い、このほど民生児童委員協議会児童福祉部会から、児童館と町内各放課後児童クラブ、町内各保育園の子どもたちにもち米の寄贈がありました。

民生児童委員協議会児童福祉部会の竹田さんが「おもちやおはぎにして食べてください」と話し、もち米を受け取った職員が「ご好意に感謝します。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



民生児童委員協議会児童福祉部会のみなさんからもち米をいただく職員



出来あがったカレンダーを寄贈する児童

ふれあいカレンダー

12月20日(月)に高浜小学校の児童とPTAで作った「ふれあいカレンダー」を児童代表らが穴田教育長に届けました。「ふれあいカレンダー」は毎年作成していて、親子で考えた標語と児童の絵が月ごとに6点ずつ掲載されています。

役場を訪れたのは、川村ひかりさんと岡部裕香さん(いずれも6年)で、穴田教育長にカレンダーを手渡しました。カレンダーは300部作られ、図書館や児童館などで活用されます。

(株)TSGが日めくりカレンダーを寄贈

能登中核工業団地でカレンダーを製造している(株)TSGが、12月22日(水)に日めくりカレンダー80部を町を通して町内の福祉施設に寄贈しました。カレンダーの下半分に、特産品のころ柿やスイカ、観光名所の機具岩や大島諸願堂などの6枚の写真と「志賀町ですよ」と言葉が書かれています。

統括管理本部長の安中喜伸さんが役場を訪れ、山王副町長にカレンダーを手渡しました。



町の観光名所が入った日めくりカレンダーを手渡す安中さん

小学生がラジオ制作に挑戦



児童2人1組で社員に教わりながらラジオを制作

12月25日(土)に石川サンケン(株)本社・堀松工場で、「小学生ものづくり教室」が開かれました。小学6年生30人の児童がラジオ作りに取り組みました。

子どもたちは2人1組で、社員が先生役となって指導しました。ラジオ作りは、はんだこてを使い、部品を組み立てたりコイルを巻きつけたりしながら制作しました。完成したラジオから音声が流れると、子どもたちは、「楽しい」と笑顔を見せていました。その後、工場見学も行われ、高い技術で行われるものづくりを熱心に見学しました。

就職支援講座が始まる

12月22日からITスキル基礎講座、1月7日から介護福祉(実践演習)講座が富来行政センターで開講しました。

両講座には11人が受講し、経理や情報処理、介護技術の演習を行い、就職に役立つ知識や技能を習得します。

期間は両講座とも約3カ月間で、コンピュータサービス技能評価試験や訪問介護員2級などの資格・検定取得を目指します。



受講初日の様子



100歳を迎えた岡田三蔵さんとご家族、民生委員のみなさん

100歳おめでとうございます

12月25日に100歳を迎えた福井の岡田三蔵さんに、27日(月)小泉町長が自宅を訪問し、長寿のお祝いをしました。

お祝いの席には岡田さんの妻の庸子さん(93歳)も同席しました。小泉町長が「町内最長寿を目指して長生きしてください。夫婦そろっていつまでもお元気で」と花束と祝い状などを手渡し、岡田さんは「ありがとう」と話しました。

長男の隆さんは「教諭をしていたときに大島の駅までの3.5キロを毎日歩いて通っていたことが、現在の健康につながっているのではないかと話しました。

新春の空へ一斉放水

1月8日(土)に志賀町消防団、全16分団約320人が志賀町防災公園に結集し、消防出初式が行われました。

式では川田一久団長が「消防人の使命を自覚し、一致団結して総力を結集する認識を持ってほしい」とあいさつしました。

観閲式と功労団員の表彰式が行われた後、神代川沿いで一斉放水が行われました。

表彰されたのは次の皆さんです。

◇知事表彰

消防職員功労章 貞 良信、本田友也、瀬戸良治
永年勤続功労章 濱野誠一、奥田純一、平田紳也、
高岡 守、新明幸一郎、木村貞則、畑中邦晃、大家和貴、
川村英外、蟹屋敷賢志

◇町長表彰

退団者感謝状 高井政義、花島幹夫、岩本 繁、

畑田林栄、笠原雅徳、熟田聖一、上滝達哉、田中文男、
出口浩一、川 真悟、大家章裕

◇町消防団長表彰 優良団員章 中山 修、杉下清吉、
南龍太郎、安中喜伸、南 英一、安田雄一郎、平木賢一、
林宏治郎、高井省吾、畑中竜哉、坂井国博、平田勝也、
小泉 亨、石田克明、柴田和司、山本紀彦、上野泰宏



神代川右岸で一斉放水をする消防団

100歳おめでとうございます

1月10日に100歳を迎えた新木安雄さんに、11日(火)小泉町長がはまなす園を訪問し、長寿のお祝いをしました。

小泉町長が花束と祝い状などを手渡し「ご友人と一緒に楽しく元気に過ごしてください」と祝福しました。

新木さんは40年ほど前に妻を亡くしてからは一人暮らしで、8年半前から入所しています。普段は自分で車いすを動かし、新聞を選んで読んでいます。長男の俊博さんは「いっしょに東京に住もうと誘っても、志賀町がいいと言って応じなかった。みなさんに介護していただき、ますます元気になり喜んでいきます」とお礼を述べました。



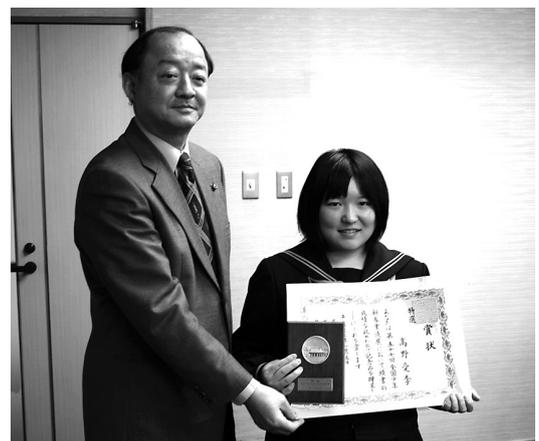
家族と民生委員に囲まれ笑顔の新木さん

全国少年書道展で高野さんが特選

富来中3年の高野愛李さんが、全国少年書道展の「半切の部」で「生命の神秘」と書き、2年連続で特選を受賞しました。特選は最高賞にあたり、北陸3県では高野さんだけが受賞しました。

1月12日(水)に穴田教育長のもとを訪れ、喜びの報告をしました。書道展は明治神宮書道会が主催し、全国から23,000点の応募がありました。そのうち中学生の部は、8,071点の応募があり、特選90点の一つに選ばれました。

穴田教育長は「ますます精進して自分のスタイルを確立してください」と祝福し、高野さんは「去年は個性の大切さを感じたので、今回は自分らしい字を応募しました。将来は書道を生かした職業に就きたいです」と話しました。



2年連続の特選を報告する高野さん

とき保育園で初茶会



お茶をいただく園児たち

1月12日（水）に地域のお茶の先生がとき保育園を訪れ、初茶会が行われました。この初茶会は今年で4回目をむかえ年長のきりん組21人が参加しました。

今年は園児の祖父母がお茶会に招待され、園児たちがお茶を運びました。慣れない手つきでしたが、お茶をこぼさないように真剣に運んでいました。

園児たちは茶道教室の坂下先生から思いやりと感謝の気持ちでお茶をいただくという作法を学びました。和菓子には辻占が入っていて何が書いてあるかはしゃいでいました。お茶が運ばれてくると習ったとおりに感謝の礼をしていただけていました。

やればできる！男の料理教室

1月15日（土）に志賀町文化ホールで男性のための料理教室が開かれました。料理研究家の室谷加代子さんを講師にむかえ、能登牛コロケや蓮蒸し、けんちん汁などを作りました。講師の室谷さんは「男性ばかりで圧倒されそうでしたが、みなさん手際がよくて驚きました」と話しました。

料理教室に先立ち、男女共同参画啓発普及グループによる出前講座も開かれました。寝たきりの母親の世話と家事を妻に任せていた亭主が、妻のケガをきっかけに母親の世話と家事をして妻の大変さを知り、改心していく様子を描いた紙芝居が披露されました。



町内から約30人の男性が参加した料理教室

園児が楽しくクッキング



もちの上にソースをぬり、野菜を乗せる園児

1月20日（木）に志加浦保育園で、年長のひまわり組12人がもちピザを作りました。園児たちは、具のピーマンや色鮮やかなパプリカ、玉ネギ、ベーコンを切って炒めた後、もちにソースをぬり、炒めた野菜とチーズを乗せて焼きました。園児たちは待ちきれない様子で、「いいにおい」「おいそう」と歓声を上げていました。出来あがると、さくら組やちゅうりっぷ組の友達にも配りました。

保育園では食育の一環として、毎月1、2回年長児クッキングを行っています。今回のもちピザは、普段野菜を食べない子もおかわりし、「簡単でおいしかった」「家でもやりたい」と園児たちにも好評でした。